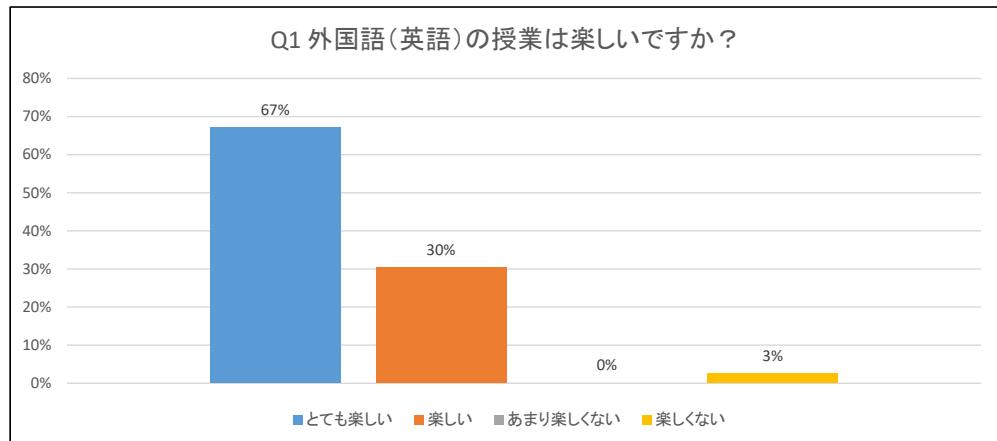


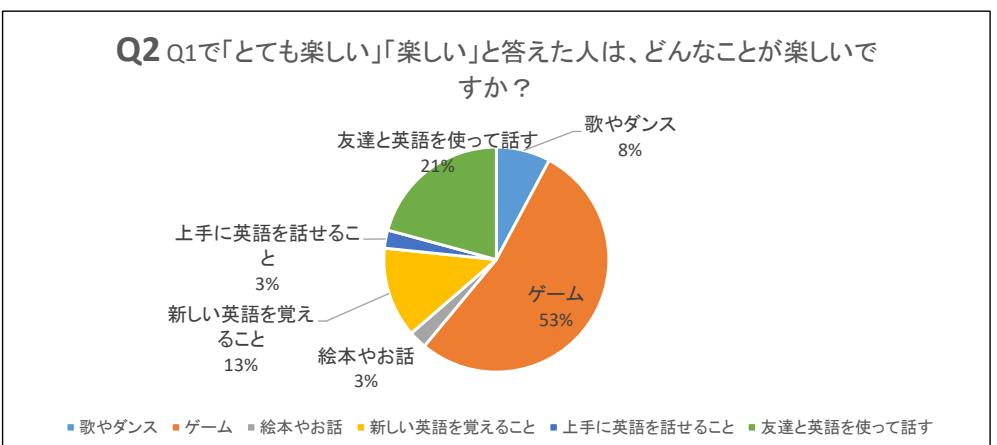
令和6年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(青海小)



【Q1について】

「とても楽しい+楽しい」を選択した児童が97%おり、昨年度と同様、外国語(英語)の授業を楽しみにしている様子がうかがえます。宇城市全体でも「とても楽しい+楽しい」を選択した児童は91%いますが、「とても楽しい」の割合が49%で、本校が18%上回っており、本校児童がより授業に親しんでいることが分かります。

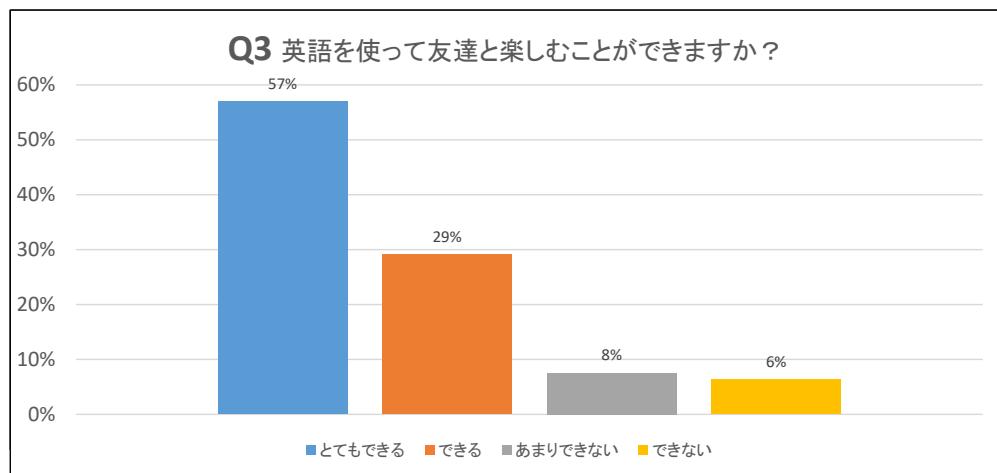
ただし、本校には「楽しくない」と回答した児童もいます。外国語(英語)が苦手な児童には日頃から目配りをして、できたことをほめることで、学級全体で安心して学習できるような環境を作っていくたいと考えています。



【Q2について】

3年前に84%だった「ゲーム」の割合は、昨年度(51%)とほぼ変わらず53%でした。ゲームが楽しい授業につながるきっかけとなっているようです。

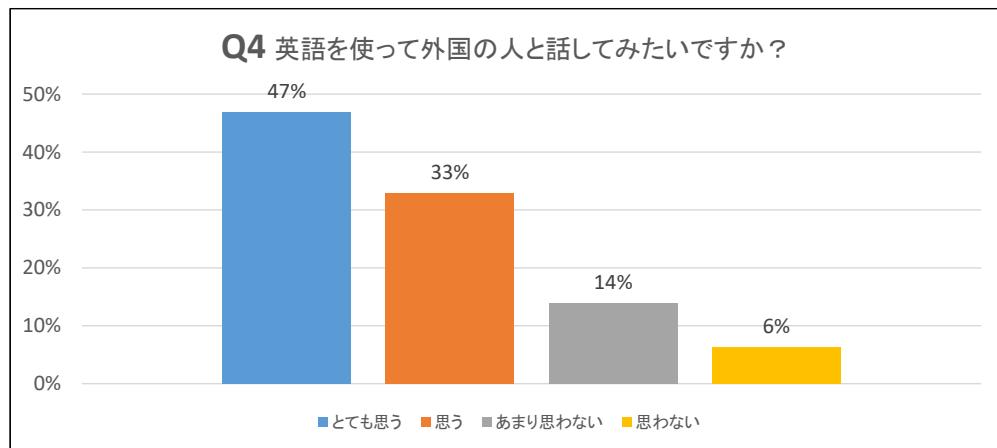
特筆すべきは、ここ2年間0%だった「新しい英語を覚えること」の割合が一気に13%に、「友達と英語を使って話す」の割合も5%上昇して21%になったことです。児童が授業で英語のやりとりをしたり、新しい英語を覚えたりと、知的な活動を楽しんでいることがうかがえます。



【Q3について】

「とてもできる」の割合が、昨年度と比べて17%増えました。「とてもできる+できる」の肯定的評価も9%増えています。Q2で「友達と英語を使って話す」ことを「楽しい」と感じた割合の増加と関係があると思われます。

また、「あまりできない」の割合も昨年度より減少しましたが、昨年度は「できない」の割合が0%だったのに対し、本年度は6%に増加しました。今後も友達とのやりとりを安心してできる工夫、やりとりを楽しいと感じる工夫が必要だと思われます。



【Q4について】

昨年度と比べて「とても思う+思う」の割合が7%減少し、「あまり思わない」が2%、「思わない」が5%増えました。Q3のように友達とのやりとりは楽しめる児童も、この設問では否定的傾向の回答をしているものと思われます。

ここでは、学級担任がネイティブ・スピーカーであるALTをどう活用するかが重要だと考えます。両者の打合せの時間を確保し、安心して取り組める学習環境のもと、苦手な児童にも達成感を味わわせる授業を目指します。

【保護者・学校関係者からの意見・要望等】
令和6年度末の学校評価アンケート(最大値4、最小値1の4件法)では、「外国語学習の充実」において、保護者様、学校運営協議会委員様ともに平均値3.5と概ね高い評価をいただきました。また、ALT派遣業者とALTのトレーナーによる授業参観を実施し、事後に「授業では児童、担任、ALTの望ましい関係が見られた。今後担任には、ALTをこれまで以上に活用してほしい。必要な教材があればALTに要望して作らせてほしい」という助言がありました。

【考察・今後の展望等】
○担任が本時のめあてに向けて、どのような授業を展開したいのか、ALTをどう活用するのかを考えることが重要です。ALTとの連携も2年目を迎えます。指導者同士のコミュニケーションづくりを図り、授業実践を更に充実させていきたいと考えます。
○ALT、そして児童同士のやりとりの時間を確保します。安心して話せる雰囲気の中、しっかり慣れ親しむことで、交流する楽しさ、できる楽しさを味わわせ、英語を使ってみたい、話してみたいと思う児童を育てていきます。